

地域包括ケアシステムの深化に向けて 医療・看護の役割とは

～住み慣れた地域で安心して住み続けられるために～

看護師・准看護師の資格をお持ちの皆さま、訪問看護にご関心のある皆さま、在宅における看取りについて多職種とチームを組み、利用者・家族の支援やACPの取組みなどについて、訪問看護師の役割を学び、ステップアップを支援する研修です。この機会に、是非ご参加ください。

日時 令和2年10月17日(土) 14時～16時
対象者 看護師・准看護師の資格をお持ちの方 定員20名(先着順)
場所 世田谷区福祉人材育成・研修センター 研修室A
(松原6-37-10 世田谷区立保健医療福祉総合プラザ1階)
申込方法 電話 または ホームページ
電話：6379-4280
ホームページ <https://www.setagaya-jinzai.jp/>
10月15日(木)までお申込みください



1. 講演「地域包括ケアシステムの深化に向けて 医療・看護の役割とは」

松原アーバンクリニック院長
梅田 耕明 氏

- 【内容】(1) 世田谷区の状況・地域包括ケアシステム
(2) 地域医療の現状と課題
(3) 事例紹介



※10月19日より研修センターのホームページにて講演の録画を視聴できます。

2. 現役の訪問看護師との懇談会等

- 不安や疑問、なんでも気楽に相談できます
- 訪問看護のDVD放映で、現場の様子がわかります
- 訪問かばんのグッズ展示、血管年齢測定もできます

新型コロナウイルス感染拡大の防止のため、十分な感染対策のもと講座を実施し、ひととき保育は実施しません。

※10月17日の研修に参加の場合のみ、ハローワークの求人実績となります。

※お申込み時にいただく個人情報は研修の目的以外には使用しません。